

事業名

花いっぱい 読書大好き 都跡の子ども

目標

地域と連携し、4校園で花をいっぱい咲かせるとともに、読書好きな子ども達を増やすよう取り組む**1. 取組の視点**

都跡中学校区では、3年前よりコーディネーターの積極的な活動や地域ボランティアの協力によって学校支援事業が進められ、成果をあげてきている。この基盤の上に立って、都跡の子どもたちの教育環境を整えていきたい。

2. 取組の概要

都跡中学校区では、今年度 幼小中の4校園とともに「花いっぱい運動」を展開した。買った苗を植えて育てるだけでなく、一部は学校支援ボランティアの協力を得て種から育て、



各校園に分けた。特に「葉ボタン」はたくさん育て、寒い冬も美しく花壇を色どってくれている。正月前には、生徒会有志とボランティアが協力し、玄関前に葉ボタンの鉢植えも作り、飾った。このように春から冬にかけていつも花壇は花いっぱい、学校に潤いをもたらしてくれ、来校された保護者や地域の方にも「いつ見てもきれいですね」と好評を得ることができた。他にも、アジサイを挿し芽で増やして各校園に分けたり、サクラソウを育てたりしている。また、昨年が続いて、「ゴーヤのグリーンカーテン」づくりも学校支援ボランティアの協力を得て、行うことができた。

都跡小学校、都跡幼稚園、佐紀幼稚園では、毎週または隔週の火曜日に「絵本の読み聞かせ」を学校支援ボランティアの協力を得て、2年前から

行っている。各校園では、子どもたちが読み聞かせのある日を楽しみに待っており、目を輝かせて見



てくれたり、身を乗り出して聞いてくれたりなど、喜んでくれている様子がみられる。ボランティアの方々からも「この日を楽しみにしている。絵本探しに図書館に行きました。」という声を聞いている。ボランティアの要望により「読み聞かせボランティア勉強会」を行い、読み聞かせ技術の向上を図る取組もしている。また、平城遷都1300年祭関係の図書を含め、子どもたちに読んで欲しい図書を充実し、読書を通じて「生きる力」を育むよう取り組んだ。さらに、地域全体に呼びかけ、校区にある平城宮の保存にまつわる話を聞かせていただく講演会を開き、学校支援ボランティアを含む多くの地域の方の参加があり、好評だった。

3. 成果と課題

[成果] 地域で学校園を支援する仕組みがほぼできた。地域に学校支援の取組が周知されてきている。学校に来られる地域の方が増えてきた。学校と地域との連携が進む。・教育活動充実の手助けができた。

[課題] より多くのボランティアの協力を得るための方策。コーディネーターや事務局員の交代時の継続性。ボランティア名簿の更新と整理。広報の有効な進め方の工夫。ボランティア活動の内容や準備物のお知らせの仕方。校園の行事予定と支援活動の日程調整。「地域の教育力の再生、地域コミュニティーの活性化」。

事業名

見つけよう地域の宝物 つながろう地域の人々

目標

生徒の諸活動を活性化し、地域の人々との交流を通して、地域の人とつながり、地域の素晴らしさを見つける

1. 取組の視点

世界遺産(平城宮跡、薬師寺、唐招提寺)に囲まれた地域にある中学校として、郷土を知り、郷土を誇りにもつ生徒を育てようとして取り組んでいる。

また、学校支援事業の推進に伴って、地域の方が積極的に学校のためのボランティア活動に参加してくださっている。この動きを大切に、地域と学校と協働して取り組む活動を工夫していきたい。

2. 取組の概要

平成20年度から始めたペンキ塗り。昨年までは、塗装職人さんに教えてもらいながら、学校支援ボランティアと生徒会有志で昇降口や階段、廊下の壁面にペンキを塗り、美しくした。今年は、

学んだことをもとにボランティアがマスキング作業をし、そのあと協働で生徒と協力しながら、3階と2



生徒とボランティアとの協働作業

階の教室前廊下壁面のペンキを塗り、とてもきれいになった。生徒会では参加が増えるように友達を誘っている姿が見られ、参加した生徒には自分たちがきれいにしたという誇りが感じられた。また、ボランティアからは生徒といっしょに活動するのが楽しいという声を聞いている。

一方、校外の活動として、都跡ふるさと夏まつりでの小学校マーチングバンドの演奏に合わせて吹奏楽部員が地域の方に踊りを披露したことをはじめ、奈良東養護学校で演奏したり、3年生

が都跡、佐紀の幼稚園で2回にわたって保育体験をしたり、生徒会有志75名ほどで小学校に行って清掃活動やスポーツで交流したり、2年生が地域で職場体験をさせていただいたり、積極的に地域に出る取組を行っている。

また、今年は平城遷都1300年にあたり、地域の全世帯にも呼びかけ、中学校で「記念講演会」を開催した。「平城宮今昔」と題して、50年前の写真と現在の写真を比較して見せていただいた。また、平城宮保存運動で活躍された方の曾孫にあたる溝辺文昭さんに明治時代に始まった保存運動の苦労話を聞かせていただいた。講演の最後の「これから

平城宮跡を守るのは君たちだよ」との言葉が印象的だった。これらの取組の中で、地域の方々とふれあう機会も増え、地域の素晴らしさも見つけてくれたかと思う。



平城遷都1300年祭記念講演会

3. 成果と課題

[成果] 予算が確保でき、生徒の諸活動を活性化することができた。また、地域の方々とふれあうことで、生徒の中に自分も地域の一員であるという自覚が生まれてきている。また、地域の方に学校のことを知ってもらうことができた。

[課題] 事業を推進するための予算確保。

学校代表とコーディネーターとで協力しながら、計画を効率的に推進するための方策の検討。

生徒や学校支援ボランティアの参加を増やすための具体的方策の検討。

事業名

みあと地域ふれあい事業

目 標

地域の人・文化財・自然を教材に活用することにより、地域の人々との交流を深め、地域を愛する子どもを育てる**1. 取組の視点**

本校は、本年度、創立 100 周年を迎える伝統校で、校区には平城宮跡・唐招提寺・薬師寺といった世界遺産があり、歴史・自然環境に恵まれている。

このような環境の中で、本校では、これまで「地域の人、もの、ことを活かして豊かな心や活動意欲を育てる」活動を継続的に実施してきた。それを土台に、小中一貫教育校で新設された「郷土『なら』科」を通して、改めて奈良や都跡地域のよさを学んでいるところである。

おりしも本年度は都跡小学校創立 100 周年に加え、平城遷都 1300 年祭が催され、学校としても地域としても記念の年となる。こういう機会を大事にし、これまで以上に地域と学校の連携事業を推進し、子どもの教育活動の充実と地域の教育力の活性化をめざす。

2. 取組の概要

低学年では、サツマイモの栽培・収穫・調理を地域の方と一緒にしたり、昔遊びを教えてくださいたりして交流する。また、平城宮跡でたこ上げや虫とりをして世界遺産にも触れる機会を持つ。



中学年では、地域の方々の協力を得て、竹馬や竹とんぼ作り、干し柿作りや団子作り等、昔の遊び・暮らし体験をする。例年の大きな行事で、子どもたちはもちろん、地域の方々も大変楽しみにしてくださっている。学年末には、お世話になった方々を招いてお礼の集会をして感謝の気持ちを伝え、給食と一緒に食べる。温かいコミュニケーションの場とな

り、相手の気持ちや心遣いも学んでいる。

また、福祉体験学習をして「人に優しい都跡地域」を考え、自分の住む地域を大切にする態度を育てている。

高学年では、主に「世界遺産学習」に取り組む。唐招提寺や薬師寺、平城宮跡等について調べ、その学習のまとめを発信している。子どもたちは、世界遺産学習を通して、地域の人や物に関心を持ち、「誇れる都跡地域」であることを再認識している。



こうした取組とともに、本年度は、平城遷都 1300 年祭が催され、子どもたちは、秋篠川船下りや 1300 年祭イベント行事等の地域行事に参加することができた。

また、都跡小学校創立 100 周年記念の風船とばしや式典等の諸行事への地域の参画、学校から地域への重なる情報発信により、「地域の学校」として一歩前進したと自負している。

3. 成果と課題

これまでから地域の方々が学校に対して惜しみない協力をいただいているが、本年度の取組から、地域の方々とのつながりがさらに強固になっていく手応えを感じている。

今後も「人と人とのつながり」を大切にし、心豊かなコミュニケーション体験を積んでいくことが必要だと考えている。学校が、地域が、それぞれ働きかけ合うことによって、お互いが活性化する関係を保持していきたい。

事業名

地育ちあおう 笑顔がいっぱい 幼稚園

目標

地域の教育力を取り入れ、幼稚園と地域が協働しながら幼稚園教育の活性化および充実を図る

1. 取組の視点

地域との連携を大切にしながら協働して園児が安心、安全で豊かな経験が出来る保育の推進。

地域の方を幼稚園に招き、子どもたちとの交流や一緒にする活動を通して、幼稚園や幼児教育の理解をはかる。

2. 取組の概要

◎ 地域の方の協力や交流をとおして

園内清掃を毎月一回年間計画に位置づけ、学校支援事業を介して地域支援ボランティアの方が園にきて園児と清掃作業を行った。この様子を見て、保護者の有志と一緒に取り組む活動になり、毎回多くの参加が得られるようになった。



餅つき



お茶会

支援ボランティアの方には畑作りをしていたり、野菜栽培について教えてもらったりしている。また交流の日を子どもたちは楽しみにしている。万青の方を園に招き園児が歌や踊り等を披露したり、一緒に遊んだりして交流を深めている。核家族化が進む中、子どもたちからエネルギーをいっぱいもらったと喜んでおられる。保護者の要望も強く、お餅つきを実施。支援ボランティアの方々がお手伝いに来て、上手にお餅をついてくださった。園児は餅つきの様子を見たり、きなこ餅にして食べたりした。

地域ボランティアの方が月2回絵本読み聞かせに来園。子どもたちは楽しみにし、絵本に親し



人形劇



絵本読み聞かせ

んでいる。今年度はこの事業で絵本を購入し絵本の充実と共に絵本の大好きな幼児が増えてきている。都跡中学校元PTAの有志(人形劇「ひな」)の方の人形劇を親子で観劇した。

講師を招聘して参観日にお家の方と一緒に運動遊びやお茶会、講演会などを実施。家族参観にはお家の方と紙風船、メンコ、こまなどで昔遊びを楽しんだ。また、5歳児はお茶会に参加。園児は祖父母やお家の方に保護者の有志による手作りのお菓子とお茶を一服飲んで頂いた。

3. 成果と課題

「子どもたちのために出来ることを」と地域の方がボランティア登録し、参加、協力いただけた。地域の幼稚園という意識も高まってきている。今後も地域の方に足を運んで頂く機会を増やし、校区の良さを発見する取組を推進したい。

(保護者のアンケートより)

- ・ 楽しい行事がたくさんあり、親子とも楽しみにしています。今後も楽しい催しを計画してください。
- ・ この事業がとても園にいかされていると思います。
- ・ 地域の方が手伝ってくださることで自分たちが大切にされていることを感じるよい機会になると思う。
- ・ 地域との交流、園児保護者みんなの幼稚園という自覚がもて子どもにとって幼稚園は自分たちにとって大切な場所だとわかってもらえたらと思う。

事業名

地域とつながる中で心と身体を育もう

目標

社会体験の場として環境を整え、交流活動を通じて社会生活能力の基礎を育む

1. 取組の視点

本園地域はその地歴的特性から宅地増が見込めず園児が少ないので、互いの性格や行動特性に変化が乏しく人間関係が固定化されやすいし、社会適応力を育むには十分でない環境にある。幸い地域は非常に協力的でさまざまな世代との交流を行うことで集団生活でのコミュニケーション力や規範意識をつける一助にしようと考えた。

またその交流の内容として地域性を活かした世界遺産学習やさまざまなジャンルの文化的体験を取り入れて、子どもたちの未来につながるあこがれや親しみの心、地域を大切に作る心を育てようと考えた。

2. 取組の概要

取り組みの視点として、同世代の幼児からお年寄りまで様々な世代と交流体験を持つ、地域の良さを活かす、身体を鍛える体験を含むこと、様々



地域の方に教えてもらって凧作り

な文化的体験や自然体験を盛り込んで感性豊かな子どもたちに育てることを考えた。交流活動は都跡幼稚園と4回、他の2園と1回ずつ計6回の交流を行った。小学校とは2回、都跡中学からは年3回(延べ9日間)、平城東中が1回(3日間)本園で生徒が保育体験を行った。また、地域の諸団体やボランティアの方々が様々な行事を通じて子どもたちと関わってくださった。(例：週1回絵本の読み聞かせ、月2回未就園児の保育支援、昔遊び、正月遊び、ドングリ拾い、正月遊び、焼

き物教室、凧作り、餅つき、作物の植え付けと収穫、園環境整備、運動会手伝い、ぼかぼかタイム



和太鼓教室

立哨など)本園周辺は平城宮跡を含む歴史遺産が多くある地域であり、また折しも遷都1300年祭が開催されたこともあって、古代衣装体験や大極殿見学などを通じて自分たちで大極殿作りに取り組み、作品展で見てもらうことができた。運動会では大極殿をバックに和太鼓の演奏、園外保育で古墳散策など、自然と歴史遺産を巡る取り組みも行った。園では親子一緒に野菜栽培をしたり、花壇には季節の花、畑では様々な作物を作って収穫したものを味わったりした。文化体験としては陶芸教室、人形劇、南京玉すだれ、お話の会、和太鼓教室、被害防止教室や交通安全教室などを楽しんだ。

3. 成果と課題

少人数の園児だけでは人間関係が固定化して育ちにくい集団適応能力育成を意識した取組を実施し、地域の方々も理解して協同して下さったおかげで、集団での身の律し方などを少しは覚えてくれたこと、多様なジャンルの専門家に来てもらい技能への憧れや畏敬の念を持てたこと、自分たちの地域のすばらしさに気づき誇りを持つようになったことなど、子どもたちの成長に大きくつながったと思われる。今後は事前協議を密にしてより効果的に機能するようにしたいと考えている。